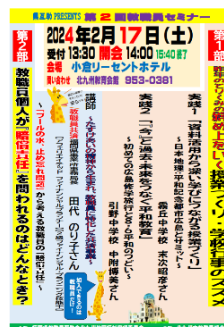




**組合員だからこそのお二人の芯の通った実践、もっとゆっくり聞きたかった！**  
**～3期教研への参加ありがとうございました！～①**

2月17日に「第2回教職員セミナー（3期教研）」が行われました。第1部ではまず、霧丘中の末次さんから深い学びにつながる資料の内容と活用のしかたを話していただきました。次に引野中の中附さんから、修学旅行団の解散により広島への修学旅行が可能となり、広島修学旅行を子どもたちと創り上げていくとりくみを報告していただきました。

第2部は、教職員共済福岡県事業所事務局長の田代のり子さんより「教職員個人が『賠償責任』を問われるのはどんなとき？」というテーマで話していただきました。昨年の夏、ニュースを賑わせた「プールの水止め忘れ問題」から、具体的な例を提示しながら話していただいた「個人賠償の問題」は、全ての教職員に聴いてもらいたい「講話」でした。参加者の感想です。



**第1部の感想**

実践発表、とても勉強になりました。せつかくの実践なのに時間が短くて残念でした。授業作りのための資料の大切さがよくわかりました。ありがとうございました。



中学校での広島修学旅行、とても感動をもって聞きました。現場の大変さ、多忙さは聞いていましたが、その中で貴重な時間を活用して子ども達と一緒に作り上げたとりくみに熱い思いがこみ上げてきました。このとりくみがきっかけになり少しでも広がっていくことを願うとともに退職者も何かのサポートができればと思います。

学校現場はカリキュラムと行事で多忙感ばかりが増えています。教材研究という教員の基本的な仕事も難しくなっているように感じます。そんな中、資料を用意して子どもたちに問いかける実践や、広島への修学旅行という新たな取組を実践され、子どもたちと共に創りあげていく活動としてたしかな手応えを感じられていることが、とてもすばらしいと思いました。ありがとうございました。



学んだことを年に1回実践しよう！という先輩の教え、その積み重ねが末次さんをつくっていったんだなと思いました。考えてみれば私たち組合員は、そうして力をつけてきたことを改めて自覚し、それをこれからも生かしていかなばと思いました。職場には、分会員は1人でも、1人ではない、困った時に相談し、とことん付き合ってくれる仲間がいることを感動的に学びました。

末次先生の日頃の授業がとても深く練られているもので、授業に対する熱意を感じました。もっと時間があつたら…と思いました。

資料の選択の仕方、読み解き方、活かし方を大切にしていることが伝わりました。広島への修学旅行の生徒に残した影響は大きいと思います。セレモニーもとても感動的でした。準備が大変だったと思いますが、やりがいのある行事になっていたと思います。お2人とも貴重な活動を見せていただきありがとうございました。



**NO.44につづく**

**わからないこと・困ったことがあつたら… 何でも気軽にお問い合わせください！**



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

